

〔科目名〕 卒業研究(情報分野)	〔単位数〕 4単位	〔科目区分〕 卒業研究科目				
〔担当者〕 神山 博		〔授業の方法〕 演習				
〔演習テーマ〕 「情報」を軸に現代の経済社会の諸課題に取り組む。 情報に関するテーマを学生が自由に選び、それについて1年をかけて調査、研究をおこなう。 例：情報化社会の諸問題の調査と考察、モノのインターネット(IoT)、Raspberry Pi、人工知能(AI)、生成 AI、Web 連携プログラミング、SNS やグループウェア等を活用したビジネスに関する調査研究						
〔演習内容〕 本研究ゼミは、情報に関するテーマについてじっくりと調査、研究し、論文としてまとめることを目標とする。研究テーマは、個別に教員と相談の上決定するが、これまでのテーマとしては、 <ul style="list-style-type: none"> ・ VR ゴーグル用モーション入力装置の開発と VR 酔いの研究 ・ 財務諸表収集・比較アプリの試作 ・ 経理業務の DX 化の現状と課題 ・ Raspberry Pi とロードセルを用いた在庫管理システム ・ 荒らしの心理と対処に関する研究 ・ 観光地案内エキスパートシステムの試作 ・ Web サーバと電子掲示板システムの構築 ・ デジタルグラフィックデザインの研究 ・ 音楽データ配信システムの構築 ・ Python 画像処理システムの試作 ・ Java を用いたリアルタイム電子会議システム ・ アウトソーシングの現状と課題 ・ Python を用いたガソリン価格の変動予測分析 ・ Juice Framework を用いた VST プラグインの開発 ・ 信用保証協会の現状と課題 などがある。 学生は自分のペースで研究を進めるが、随時教員と討論を行い、アドバイスを受ける。また、定期的 に報告会を開いて互いの研究経過を報告・検討しあう。この過程で先行研究の調査分析技術を学ぶ。各 自の研究成果は卒業論文としてまとめる。						
〔科目の到達目標〕 現代経済社会の諸課題について、「情報」を軸に考え取り組むことができる。						
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕						
学部				学科		
DP1	DP2	DP3 ○	DP4	DP1	DP2	DP3
〔前提条件〕 情報の知識と技術を身につけ、社会人となってからも活用したいという意欲を持っていること。						
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) ゼミ内での定期的な発表、活動状況、卒業論文を総合的に評価する。						
〔教科書等〕 教科書は特に指定しない。参考書は個々の学生のテーマに合わせて適時提示する。						
〔実務経歴〕 該当無し。						

授業スケジュール	
時期	テーマと内容
4月 ～ 5月	学生それぞれが興味を持つ複数のテーマについて、教員や他のゼミ生と話し合いながら、その分野の文献を教材に学習を進める。論文の書き方の概要指導をおこなう。
6月 ～ 7月	研究テーマの仮決定、背景や先行研究等の予備調査、定期報告とディスカッション。報告書を元に文書構成指導。
8月 ～ 9月	研究テーマの本調査、研究テーマの決定と研究活動の開始、ツールやシステムの作成を計画している場合は、実装のための調査と試作。定期報告とディスカッション。報告書を元に文書構成指導。
10月 ～ 11月	研究活動を継続。定期報告とディスカッション。論文執筆の準備と論文執筆開始、論文執筆指導。
12月 ～ 1月	研究の仕上げに向けて研究活動を継続。論文執筆継続。論文執筆指導。 研究全体の振り返りと適宜修正指導。1月中旬を目処に論文提出。